

Business Report

ごあいさつ

Top Message

アステリアは、システム、ヒト、モノ、 そしてオモイを未来へ「つなぐ」企業として これからも成長を続けてまいります。

株主の皆様には、平素より格段のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの事業は、「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、システム、ヒト、モノ、オモイを「つなぐ」ための製品とサービスを、お客様に提供しております。

当第2四半期(中間期)における当社グループの業績は、売上収益は1,711百万円(前年同期比25.0%増)、営業利益は4,685百万円(443.5%増)、税引前四半期利益は5,198百万円(484.5%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益3,349百万円(499.3%増)と大幅な増収・増益となりました。

「ASTERIA Warp」は幅広い業界でクラウドサービスと社内システムとの新たな連携ニーズの拡大などにより、製品シリーズ全体の売上が堅調に推移しました。「Gravio」は、人流把握や三密状態を回避する効率的なオペレーションを実現するシステムの導入ニーズが拡大し、これに対応する本製品を用いたソリューションへの引き合いが増加しました。「Platio」は、現場のDXや各種業務アプリの内製化を実現するノーコードツールとして注目されるなか、労働安全対策や各種点検業務のアプリ化、また観光関連ビジネスからの引き合いが好調です。2022年2月に販売を開始した商談支援アプリ「Handbook X」は、営業職を中心に幅広いニーズがあります。

また当社グループでは、各国の新型コロナウイルス感染状況に応じて、出社とテレワーク勤務を柔軟に切り替え、事業のスムーズな遂行と社員の感染予防を両立しています。更に国内ではサテライトオフィスを整備し、マルチワークプレイスによる新しい働き方を推進しています。

今後、当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染拡大に端を発したデジタル化の加速は不可逆であると考えており、数年間にわたって大きく成長すると考えられる「D4G」(Data, Device, Decentralized, Design for Green)領域に集中した事業展開を行います。当該領域への投資強化のため、9月に投資子会社Asteria Vision Fundを通じて第2号ファンドを組成することを決定しました。また同月に、ノーコードによるソフトウェア文化の変革を目的とした「ノーコード推進協会」を発起人企業の一社として設立しました。普及啓発活動を通じて企業や社会の生産性向上に寄与するDXを推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当事業へのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

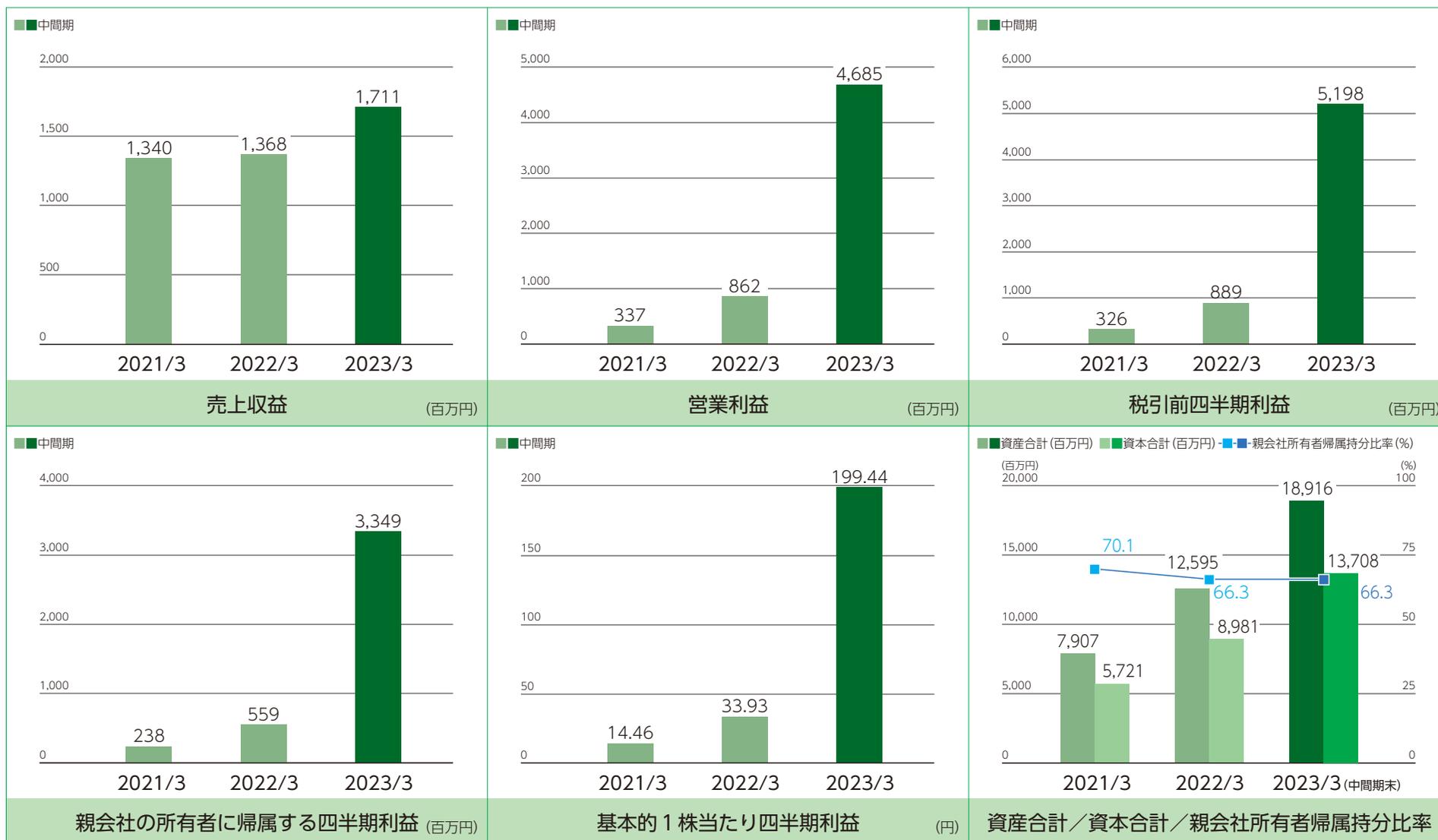


代表取締役社長 / CEO 平野 洋一郎

財務ハイライト

Financial Highlights

当第2四半期連結累計期間における売上収益は1,711百万円、営業利益は4,685百万円、税引前四半期利益は5,198百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,349百万円となりました。



「ノーコード^{*}」を武器にDXを推進し社会のウェルビーイングを実現する

アステリアは、ノーコード製品を通じたDXを推進してより働きやすい社会を実現すべく、今年、新たな幹部ポジションを設置し、5月にはCXO(Chief Transformation Officer／最高変革責任者)として中山五輪男が、7月にCWO(Chief Well-being Officer／最高ウェルビーイング責任者)として島田由香が就任しました。今回は新幹部2名とCEOの平野洋一郎を交えて、新ポジション設置の背景とその役割、新たな体制でアステリアが目指す未来について、徹底的に語り合いました。



中山 五輪男

CXO(Chief Transformation Officer／
最高変革責任者)
首席エバンジェリスト

平野 洋一郎

代表取締役社長／CEO

島田 由香

CWO(Chief Well-being Officer／
最高ウェルビーイング責任者)

— まずは今回CXO、CWOというポジションを新設し、中山さん、島田さんを迎えられた経緯をお聞かせください。

平野洋一郎(以下、平野)：ふたりともそれぞれの領域の卓越したスペシャリストで、その信念がアステリアの目指す方向と完全に合致していました。実績の面でも人間的にもすっかりほれこんでしまい、一緒にやろうとオファーしました。

まず、中山は日本を代表するエバンジェリストであり、ソフトバンクや富士通などの先進的なIT企業で、新しい技術やトレンドについて広く世の中に啓発していく仕事を長年担ってきました。DXの流

れのなかで、これからもっと日本を変えていこうというときに、誰もが簡単にソフトウェアの設計開発ができる「ノーコード」がキーワードになるという話で盛り上がりました。

一方の島田は、日本GEやユニリーバ・ジャパンと名だたるグローバル企業の人事として活躍してきました。心理学の知見を生かして個人のモチベーションに着目した施策を次々に打ち出し、リモートワークやワーケーションなど柔軟で多様な働き方の実践を通じて、広く日本の企業や社会のウェルビーイング向上を目指しています。アステリアでは以前から「働き方」というテーマについても取り組ん

できていますし、島田が提唱している「人の幸せ、自分たちの幸せ」という考えはアステリアの理念のひとつである「幸せの連鎖」と同じですし、それを体現しているオピニオンリーダーだとも感じました。

— おふたりがアステリアにジョインした決め手は何でしょうか。

中山五輪男(以下、中山)：これまでエバンジェリストとして、全国各地を回って講演を行ってきました。そのなかで特に中堅、中小企業の経営者と触れ合うことが多かったです。話を聞いてみると、DXがまったく進んでいない。日本の全企業数のうち99.7%が中小企業と言われているから、とにかく中堅、中小企業を救わないと日本は変わらない、何かよい手はないのかと悶々としていました。

そんなときに、平野がノーコードについて語っている姿をたまたま目にして、これだと(笑)。居ても立ってもいられなくなり、話を聞かせてほしいとすぐに連絡を取りました。

平野：「日本を変えよう」という話で盛り上がりましたね。

中山：私がソフトバンク在籍時代にあるプロジェクトでアステリアの製品を扱ったことがあり、当時から平野のことは知っていました。業界でも優秀な経営者であることは知れていました。実はそれだけでなく、共同創業者である北原淑行(副社長・CTO)とは、私が新卒入社した会社の同期という個人的な縁も。北原は当時から抜き出た力を持つエンジニアで、その後の活躍も耳にしていました。これだけご縁がそろえば、これはもう運命だと思って迷わず飛び込むことにしました。

平野：通常、「CxO」というと、CEO、CFO、CTOなど最高責任者の総称で使われていて「x」は小文字ですが、中山の肩書きは「CXO(Chief Transformation Officer)」、「X」は大文字です。ミッションはトランスファー、つまりアステリアを起点に日本を変革することに尽力してほしいという思いを込めました。

島田由香(以下、島田)：すごく共感できます。私もまったく同じ気持ちで決断しましたから。

平野：島田とは共通の知り合いを通じてClubhouseというSNSで話をしたことがきっかけでした。前職時代には、ユニリーバの働き方変革を牽引した人事トップとして、この「Business Report」の対談にも登場してもらいましたね。

島田：そうですね。話を聞けば聞くほど、創業の頃から働き方の多様性を広げたり、個人の働きがいが高めることに力を尽くされてきたことがわかり、平野の本気さが伝わってきました。私も長く人事の仕事に携わってきましたが、やはり組織の鍵となるのはリーダーだと感じていたので、平野のように信念を持って本気で行動を起こすリーダーが実際にいるんだと感動したことを覚えています。



鼎談のロングバージョンをWebで公開中です。
<https://www.asteria.com/jp/inlive/asteria/5540/>

もともと私自身、働き方の面から日本を変えようという思いでやってきましたが、そのなかで「働き方」「真の人材育成」「地域活性」「ウェルビーイング」という自分の人生のテーマが明確になっていきました。人生の時間は有限ですから、これからはこの4つのテーマに自分のエネルギーを注ぎ込みたいという気持ちで、前の会社を退職することを決めたのです。当時たまたま平野と会ってそんな話になり、だったら一緒に、と声をかけてもらいました。

今後は、アステリア社内はもちろん、日本のウェルビーイングのあり方をさらに追求していければと考えています。私自身も月の3分の2を地域で過ごす働き方を選んでいて、今回CWO就任に際しては業務委託という形を取りました。画一的な雇用の形態にとらわれず、一人ひとりにとってよりよい形を実現していくこともウェルビーイングのひとつだと考えています。

—— **ウェルビーイングとはどういうものか、改めてご説明いただけますか。**

島田:「ウェルビーイング(Well-being)」とは、言葉どおり「良い状態である」ということ。私なりに定義すると、「なんかいい感じ」「いい調子」と思えることですね。「最近、調子どう?」と聞かれて「いい感じ」と言える状態が、ウェルビーイングが高いということです。

これはつまり、ウェルビーイングは主観的でよく、他人と比べる必要もないし、働き方もそう。それぞれ自分が満たされた状態にいるから、存分に力を発揮できてパフォーマンスも高くなりますし、他人にも優しくなれて人間関係が格段に向上することが明らかになっています。大げさな話ではなく、ウェルビーイングが高まった先にあるのは世界平和だと考えています。

平野:ソフトウェア業界は、昔から働き方の面でさまざまな問題を指摘されてきました。しかし、本来ソフトウェアというのは、人々の役に立ち、より便利で幸せな生活を実現するもの。ソフトウェアを通じて人々の幸せを増進したいという念から開発した製品が、ノーコード技術を使った「ASTERIA Warp」です。だから、ノーコードとウェルビーイングはつながっているものなんです。

島田: つながっていますね。

中山: まさにつながっています。圧倒的多数の中小企業が、なかなかDXを推進できない原因は、日本独自のソフトウェア文化にあります。欧米の企業では、業務システムは社内内で内製するか、市販のパッケージソフトを買ってきてそれに合わせて業務を変えするという方法が一般的です。ところが日本では、自社の業務に合わせてシステム開発会社に外注して作ってもらうことが当たり前になっています。中小企業は十分なIT予算が取れないため外注することが難し

く、内製するための専門人材もない場合が多い。ところがノーコードであれば、プログラミングしなくてもアプリケーションを作れる。専門知識を持たなくても基本的なパソコン操作ができる程度のスキルがあれば簡単に開発ができます。

平野: システム開発を外注するのは、ストレスがかかりますからね。自分たちの業務を他人に理解してもらうのはなかなか難しい。

中山: だからこそ自分たちに必要なツールを自分たちで開発していくのが一番です。当社のユーザー企業の例では、プログラミング経験のない“専務”が自らアプリケーションを開発しました。それを社員に渡して、各現場で自由にカスタマイズしていくようにしたら、アップデートを重ねてバージョンはすでに100を超えています。これを外注していたら、時間も開発費もかなりかかってしまいます。

島田: ノーコードで業務が楽になるということですよ。日本人はどこか「楽をしてはいけない」と思い込んでいる節がありますが、「楽」という字が「楽しい」と同じなのは意味がある。もっともっと楽になっていいと思います。

そして何より、ノンストレスというだけでなく、自分なりに考えたものが形になり、瞬時に結果が出るというのは、個人のクリエイティビティを発揮できる素晴らしい場だと思えますね。日々の仕事の場で、こういう経験ができるポジティブな感情が高まります。

中山: 実際、2022年に日本DX大賞行政機関部門で大賞を受賞した熊本県小国町では、職員が自らモバイルアプリの開発・運用を行い、試行錯誤を重ねながら、新しい機能や使い方のアイデアが現場からどんどん生まれています。むしろノーコードのツールを使うことで、自分たちの業務を見直したり、物事を論理的に考えるきっかけにもなっている気がします。

ノーコード開発なら自分たちにもできるんだと、もっと多くの人に知ってもらいたいですね。

—— **広めていくために必要なことは何でしょうか。**

中山: やはり経営者が鍵になると思います。自らリーダーシップを発揮して変革に臨み、思い切って現場に任せられるかどうかが重要ですね。

島田: まさしく組織はリーダー次第だと思います。リーダーシップの発揮の仕方は人それぞれ自分らしくあればよいと思うのですが、周りを信頼できるかどうか重要ですよ。きっとできるという信頼が前提であれば、どんどん現場に任せられることができます。

—— **では最後に、今後の展望をお聞かせください。**

島田: 平野や中山のような本気のリーダーとともに仕事ができるこ

とが、とても楽しみです。まずはアステリアの社員一人ひとりが、心から「なんかいい感じ」と思えるようにしていくこと。そしてアステリアというプラットフォームを通じて、日本全体がウェルビーイングを高めていくことに貢献できればと考えています。

中山: 日本の1億2千万人すべてが、ノーコードユーザー、ノーコードクリエイターとなって、技術を意識せずにアプリケーションを作れるような世界にしていきたい。そのためには1社だけでは難しいので、ノーコード推進協会という団体を2022年9月に立ち上げました。『日本のソフトウェア文化を変革する』をビジョンに掲げ、ノーコード思考を広く浸透させていきたいと思っています。

※ ソースコードを書かなくてもソフトウェアやアプリ等の開発ができる仕組み

アステリア株式会社
代表取締役社長 / CEO

平野 洋一郎 (ひらの よういちろう)

熊本大学工学部を中退し、ソフトウェアエンジニアとして8ビット時代のベストセラーとなる日本語ワードプロセッサを開発。その後、ロータス株式会社(現:日本IBM)でマーケティングおよび戦略企画の要職を歴任。1998年、インフォテリア(現:アステリア)株式会社創業。2007年、東証マザーズ上場。2008年~2011年、本業の傍ら青山学院大学大学院にて客員教授として教壇に立つ。2018年、東証一部へ、2022年、東証プライムへ市場変更。

アステリア株式会社
CXO(Chief Transformation Officer / 最高変革責任者)
首席エバンジェリスト

中山 五輪男 (なかやま いわお)

法政大学工学部卒業。複数の外資系ITベンダーおよびソフトバンクを経て、富士通の理事 / 首席エバンジェリストとして幅広く活動。2022年5月よりアステリアCXOに就任。スマートデバイス、クラウド、ロボット、AI、IoTの5分野を得意分野とし、年間約300回の全国各地での講演活動を通じてビジネスユーザーへの訴求活動を実践している。

アステリア株式会社
CWO(Chief Well-being Officer / 最高ウェルビーイング責任者)

島田 由香 (しまだ ゆか)

株式会社YeeY 共同創業者 / 代表取締役。慶應義塾大学卒業後、パナソニックを経て、コロンビア大学大学院にて組織心理学修士号取得。日本GEにて人事マネジャーを経験し、2008年ユニリーバ・ジャパン入社。2014年より取締役人事総務本部長に就任。2017年に株式会社YeeYを共同創業し代表取締役に就任(現職)。企業の経営支援や人事コンサルティング、組織文化の構築支援などを通じて、日本企業のウェルビーイング経営実現に取り組んでいる。日本の人事部[HRアワード2016]企業人事部個人部の最優秀賞。「国際女性デー | HAPPY WOMAN AWARD 2019 for SDGs」受賞。Team WAA! 主宰、Delivering Happiness Japan代表 / チーフコーチ サルタント、Japan Positive Psychology Institute代表。

全国のシステム開発、コンサルティング企業がアプリプロバイダーに！ 独自ノウハウを基にアプリを作成し販売可能な「Platio One」提供開始



2022年5月6日、「Platio One」を提供開始

Platio Oneは、モバイルアプリ作成ツール「Platio」で利用できる業務アプリを、全国の企業が持つ独自のノウハウを基に作成し、各社の顧客に提供できるサービスです。Platio Oneにより、これまでExcel等を使ったデジタル化や、汎用クラウドサービスの紹介に留まっていた「現場のDX」推進を、さまざまな現場で使用できるスマートフォンやタブレットで行うことが可能となります。

導入事例



(株)ランシステム様
HACCP実施記録アプリ

HACCP一般衛生管理で必要となる、日次の点検項目をチェックリスト形式で記録



(株)システムフォレスト様
お茶農家向け栽培日誌アプリ

お茶栽培で必要となる工程(施肥、防除、被覆、剪整枝、等)の作業状況を記録



エイディケイ富士システム(株)様
建設業向けアプリ「SiteEye mini」

建設現場でニーズの高い機材管理や、点検、従業員の出勤や作業日報を記録

Platio One提供開始の背景・今後の方針

Platioは、企業独自の業務アプリをノーコード^{*1}かつ約3日間で作成・運用可能という強みが評価され、幅広い業種の企業・団体に採用され、現場業務のアプリ化による業務プロセスの効率化を支援しています。Platioを販売するPlatioパートナー企業も全国で約40社にまで拡大し、Platioパートナーによるアプリ作成も活発になっていることから、汎用性の高いアプリが多数誕生しています。

そこで、当社ではPlatioパートナー等が作成したPlatioアプリを製品化・販売できる新たなサービスとしてPlatio Oneの提供を開始しました。Platio Oneを契約した企業は、Platioアプリプロバイダーとして独自のアプリを自社顧客に幅広く販売できます。Platio Oneの提供に伴い、Platioユーザーはアプリを自社作成することなく、現場に即したモバイルアプリを導入可能となります。

今後はPlatio Oneを通じてアプリプロバイダーが作成・提供するPlatioアプリを、2022年度末までに100アプリ以上に拡充し、さまざまな現場のDX推進に貢献していく方針です。

※1 ソースコードを書かなくてもソフトウェアやアプリ等の開発ができる仕組み
 ※2 LINEのトークを通じて特定の人にギフトを送付できるサービス
 ※3 Googleが提供するビッグデータ解析サービス
 ※4 100%再生可能エネルギーで運用するクラウドコンピューティングサービス

英国コスメLUSHの国内販売を手がけるラッシュジャパンが「Warp」を導入 LINEギフトと社内システムのAPI連携をノーコードで実現



コロナ禍で巣ごもり消費を含めた新しい生活様式が広がったことにより、インターネットを通じたオンラインショッピングは急速に増加しています。

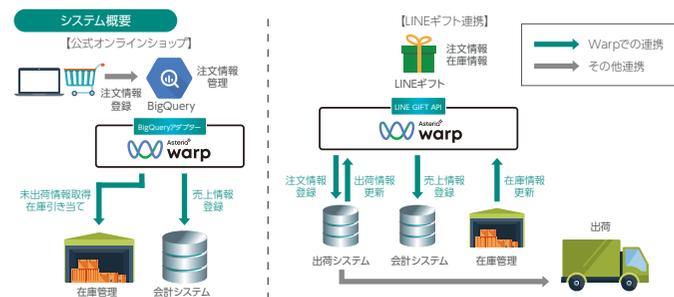
英国発のナチュラルコスメブランド「LUSH」の国内販売を手がけるラッシュジャパンでは、移動や行動の制限によるオンラインギフトのニーズが高まっていることを受け、LINEギフト^{*2}に商品を出品することを決定しました。新たな連携システムの構築が急務となり、ノーコードにより開発工数が大幅に削減できることや、多様なシステムとの連携を実現する豊富なアダプターが兼ね備えられているASTERIA Warpに着眼し、プログラミング経験のない社員でも取り扱うことが可能で、非属人的な保守・運用が実現できることから、導入を決定しました。

公式オンラインショップの注文データを管理するGoogle Big Query^{*3}と社内システムとのデータ連携にもWarpを導入したことで、複数の販売チャネルにおける売上や在庫のデータ管理を実現しています。ラッシュジャパンでは、英国のラッシュ本社で運用している環境配慮型クラウドサービスGoogle Cloud Platform^{*4}とのデータ連携にもWarpの導入を進めていく計画で、脱炭素に貢献する社内システム構築を進めています。



ニーズが増したLINEギフト販売商品

ECサイトの在庫管理システム・出荷システムイメージ



今後のWarpビジネスの展開

ASTERIA Warpはビジネスを順調に拡大し、現在の導入社数は9,800社を突破するなど、企業データ連携市場(EAI/ESB)では16年連続シェアNo.1、データ連携ツールとして国内シェア40%以上を占めています。また、幅広い業界でのDX推進や改正電子帳簿保存法の施行に伴う連携ニーズに加え、インボイス制度対応におけるニーズも見込まれるなど、新たな引き合いも拡大しています。今後も、Warpの多様なデータソースとの連携機能をさまざまな業界に拡販するとともにノーコードの特長を生かしてIT人材不足解消など社会課題解決に向けたデータ活用を支援し、業務の効率化・自動化等の推進に貢献してまいります。

等々力陸上競技場内の94か所のトイレ混雑状況を見える化 Gravio独自のエッジ・コンピューティングが3密回避に貢献



川崎フロンターレと岡谷エレクトロニクスが競技場の感染対策に「Gravio」を採用

当社のAI搭載IoT統合エッジウェア^{*5}Gravioの販売パートナーである岡谷エレクトロニクス株式会社が、Jリーグ加盟チーム運営の株式会社川崎フロンターレと、Gravioを利用した「トイレ利用状況可視化システム」を開発し、試合会場となる等々力陸上競技場での実証実験を実施しています。2022年3月より大規模イベントの人数制限が緩和されるなか、等々力陸上競技場では、3密が発生しないためのさらなる感染対策を検討していました。そこで当社のGravioを採用。約100個の開閉センサーを競技場内のトイレ個室に設置し、扉の開閉状況によって個室の利用状況をリアルタイムで確認できる「トイレ利用状況可視化サービス」を開発しました。

このサービスにより、来場者は手元のスマートフォンでトイレの混雑状況をリアルタイムで確認し、3密を回避することが可能です。川崎フロンターレと岡谷エレクトロニクスでは、Gravioを活用した感染対策の効果を測定することで、観戦者が安心できる環境構築に貢献します。



会場内のQRコードから、トイレ利用状況可視化サービスにアクセス

^{*5} 当社の造語。上位システムへの負荷や通信遅延を解消させるために端末の近くにサーバーを分散配置するネットワーク技法のひとつである「エッジコンピューティング」用のミドルウェア

「JPX日経中小型株指数」構成銘柄への選定

当社は、このたび「JPX総研」と「日本経済新聞社」が共同で算出を行う株価指数である「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に新たに選定され、2022年8月31日から採用されました。

「JPX日経中小型株指数」は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とするJPX日経インデックス400のコンセプトを中小型株に適用することで、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行っている企業を選定するとともに、こうした意識をより広範な企業に普及・促進を図ることを目指すものです。

構成銘柄の選定は、東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場を主市場とする普通株式から、時価総額、市場流動性指標によるスクリーニングの後、定量的な指標（3年平均ROE、3年累積営業利益）によるスコアリングや、定性的な要素（独立社外取締役／女性役員の選任、IFRS採用または採用の決定を公表、決算などでの英文開示等）が加味された採点が行われ、上位200銘柄が選定されます。

当社は今後も幅広い投資家の皆様のご期待に沿えるよう、引き続き企業価値の拡大とIR活動の充実に努めてまいります。



JPX日経中小型株指数の詳細についてはJPX（日本取引所グループ）のWebページをご参照ください。
<https://www.jpx.co.jp/markets/indices/jpx-nikkei400/01.html>

ノーコード開発の普及で企業業務の自動化／効率化を革新！ 日本記念日協会が6月25日は「ノーコード開発の日」と登録認定

一般社団法人日本記念日協会は6月25日を、「ノーコード開発の日」として登録認定しました。

当社は20年前の2002年6月25日に完全ノーコードでのデータ連携を実現し、業務の自動化を支援するソフトウェア「ASTERIA Warp」（発売当初の名称：ASTERIA R2）の販売を開始しました。当時からプログラミングに関する知識を必要としないノーコード開発を実現するソフトウェアの普及を推進し、その後も、ノーコード開発を基本的なコンセプトとしたソフトウェアとして2016年にモバイルアプリ作成ツール「Platio」を、2017年にはAI搭載IoT統合エッジウェア「Gravio」を提供開始し、さまざまな領域でのノーコード開発を実現しています。

今後は登録認定された「ノーコード開発の日」を通じてノーコード開発という考え方の認知を上げながら、非IT人材でも手軽に業務改善や効率アップにつながるシステムやアプリを作成できる、ソフトウェア文化の普及を推進します。また、デジタル後進国となってしまっている日本企業や社会のDX推進と、効率的な社会インフラの実現に向けた啓発にも取り組んでいく方針です。



記念日授与の様子（本社オフィス）
中央：日本記念日協会代表加瀬氏
左：アステリア大野、右：アステリア社長平野

ASTERIA Warp 20周年記念サイトを開設「すべての“つなぐ”のそばに。」 創業者による開発秘話や20年の歩みを紹介

ASTERIA Warp発売開始から20周年を迎えることを記念した特設サイトを開設しました。当社は創業当初からプログラムコードを1行も書かずにコンピューターを制御するノーコード開発の実現と、その普及に取り組んできました。多様なソフトウェアやテクノロジーとの連携機能を兼ね備えたASTERIA Warpは、誰もがもっと簡単・安全につながる世界を目指し、さまざまな“つなぐ”をお届けしています。当社/パートナーやユーザーへの感謝と、今後も“つなぐ”技術を届けていく思いを込めて「ASTERIA Warp 20周年記念サイト」を開設。特設サイトでは、20年間の歩みや開発秘話、今後の可能性について紹介しています。

また当社では、デジタル資産やメタバースを含めた未来のビジネスモデルを探るコンセプトシンボルとして、オリジナルNFTアートをデザインしました。ASTERIA Warpで使用されているアイコン約300種類を使って当社ロゴをデザインしたNFTアート19点を、特設サイトからの抽選により配布（無償）するとともに、2002年発売当初の製品ロゴ（ASTERIA R2）を復刻させた唯一無二の作品1点を、NFTマーケットプレイスOpenSeaに出品しました。オークションでの売上はウクライナ避難民の支援団体に寄付する予定です。



ASTERIA Warp 20周年記念キャンペーン・アイキャッチ



ASTERIA Warp 20周年記念サイト
<https://www.asteria.com/jp/warp20th/>

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	アステリア株式会社 Asteria Corporation
設立 本社 (2021年10月1日より移転)	1998年9月 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー19F TEL:03-5718-1655
西日本事業所	〒530-0017 大阪府大阪市北区角田町8-47 阪急グランドビル20F
中部事業所	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-26-8 KDX名古屋駅前ビル13F
熊本R&Dセンター	〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街1-28 THE PLACE花畑ビル6F
資本金	22億7,534万円
事業内容	企業向けソフトウェア製品の開発・販売 およびデザイン戦略コンサルティング
従業員数(連結)	143名
グループ会社	● アステリアArtificial Recognition Technology合同会社 (東京) ● Asteria Technology Pte. Ltd. (シンガポール) ● Asteria Vision Fund Inc. (ブレイノ) ● This Place Limited (ロンドン) ● This Place HK Ltd. (香港) ● This Place Inc. (シアトル) ● 亞思塔(杭州)信息科技有限公司 (杭州) ● 亞思塔(上海)貿易有限公司 (上海)

役員の状況 (2022年9月30日現在) ※は社外役員

代表取締役社長/CEO	平野 洋一郎
取締役副社長/最高技術責任者	北原 淑行
取締役	※ 五味 廣文
取締役	※ Anis Uzzaman
取締役	※ 時岡 真理子
常勤監査役	※ 高野 善晴
監査役	※ 赤松 万也
監査役	※ 長崎 玲
常務執行役員/最高財務責任者	齊藤 裕久
常務執行役員/営業本部長/ マーケティング本部長	熊谷 晋
執行役員/中国R&Dセンター長	黄 曦
執行役員/Global COO	Dusan Hamlin
執行役員/研究開発本部長	田村 健
執行役員/コミュニケーション本部長	長沼 史宏

株式情報 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	44,600,000株
発行済株式の総数	17,491,265株 (自己株式683,921株を含む)
株主数	11,238名

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
平野 洋一郎	1,860,000	11.07
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,495,500	8.90
北原 淑行	887,577	5.28
株式会社ミロク情報サービス	552,800	3.29
パナソニックインフォメーション システムズ株式会社	550,000	3.27
HAMLIN DUSAN ALEXANDER	433,803	2.58
株式会社日本カस्टディ銀行 (信託口)	315,400	1.88
上田八木短資株式会社	143,000	0.85
日本証券金融株式会社	133,600	0.79
阪上 正	120,000	0.71

(注) 1. 当社は自己株式683,921株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
2. 持株比率は自己株式(683,921株)を控除して計算しております。

株式の状況 合計株主数 11,238名

自己名義株式	0.01%
金融機関	0.10%
証券会社	0.31%
その他の法人	0.48%
外国法人等	0.67%

所有者別分布状況



証券会社	2.56%
自己名義株式	3.91%
外国法人等	6.91%
その他の法人	7.69%

所有株数別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
証券コード	3853
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
決算期日	3月31日
定時株主総会 基準日	毎年6月 3月31日
公告の方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 通話料無料 0120-232-711 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 通話料無料 0120-782-031
ホームページ	https://www.asteria.com/

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社ではお手続きできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRメルマガ、LINEメッセージ配信

アステリアの最新のニュースやトピックス、キャンペーン情報などを、「ASTERIA IR News」としてメールで配信いたします。

登録は
こちら



またアステリアが発表するプレスリリースなどを、「リリース配信通知サービス」としてLINEのメッセージで通知いたします。

